



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月29日

上場会社名 株式会社 ドリコム 上場取引所 東
コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 内藤 裕紀
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 （氏名） 後藤 英紀 TEL 050-3101-9977
半期報告書提出予定日 2026年11月10日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	8,328	1.1	659	—	595	—	502	—
2026年3月期中間期	8,238	105.0	△574	—	△616	—	△2,362	—

（注）包括利益 2027年3月期中間期 491百万円（－％） 2026年3月期中間期 △2,362百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	17.50	17.49
2026年3月期中間期	△82.08	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	12,759	5,309	41.1	184.69
2026年3月期	11,876	5,043	42.0	172.26

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 5,246百万円 2026年3月期 4,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	0.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△0.3	1,300	218.1	1,150	260.6	900	321.2	31.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期中間期	29,451,212株	2026年3月期	29,446,212株
2027年3月期中間期	1,044,565株	2026年3月期	516,395株
2027年3月期中間期	28,706,607株	2026年3月期中間期	28,782,245株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

（注）株式会社日本カストディ銀行（以下、「ESOP信託口」という。）が所有する当社株式403,513株（議決権の数4,035個）につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2026年10月29日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「with entertainment」をミッションとして掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、グローバルで、リアルとデジタルの融合によりIPをプロデュースする企業となっていくことを掲げており、IPの創出・育成を通じた持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運用が主要事業となっており、当社が国内外の商標権を保有する「Wizardry」IPのゲーム開発・運用及びブランド管理を行うほか、他社IPゲーム、ゲームプラットフォーム、オリジナルゲームの開発・運用を行っております。

また、コンテンツ事業においては、IPの創出、育成、収益化を目的として小説、コミックス等の書籍、電子書籍の出版、販売、アニメの企画・プロデュース、グッズの企画・販売などに取り組むとともに、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新たなサービスの開発を進めております。

当中間連結会計期間における業績は、売上高8,328,881千円（前年同期比1.1%増）、営業利益659,263千円（前年同期は営業損失574,839千円）、経常利益595,562千円（前年同期は経常損失616,865千円）、親会社株主に帰属する中間純利益502,359千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失2,362,395千円）となりました。

当中間連結会計期間における各セグメントの業績は以下のとおりです。

ゲーム事業

ゲーム事業においては、2024年10月にリリースした自社配信タイトル『Wizardry Variants Daphne』及び12周年を迎えたIPタイトルを中心に、運用中の複数のタイトルから収益を獲得しております。なお、2026年3月期末にゲーム事業セグメントの子会社2社を売却したことに伴い、運用タイトル本数は11本から9本に減少しております。また、IPの創出・育成を目的として、PC・コンソールゲームの開発及びインディーゲームパブリッシングの取り組みを進めております。

売上高につきましては、運用中の主力2タイトルにおいて周年施策やコラボレーション施策を実施したこと等により、前年同期を上回って推移したものの、前期末の連結子会社の売却により、セグメント全体では前年同期比で減少いたしました。

利益につきましては、前年同期に新規タイトルのリリースに伴い発生していたソフトウェア償却費及び広告宣伝費等が減少し、当該タイトルを含む不採算タイトルの赤字幅が縮小したことに加え、主力2タイトルの売上増加と決済手数料率の低下による採算性向上により、セグメント利益を計上することとなりました。

以上の結果、セグメント売上高は7,890,554千円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は1,159,899千円（前年同期はセグメント損失114,888千円）となりました。

コンテンツ事業

コンテンツ事業においては、IPの創出、育成、収益化を目的として出版事業・アニメ事業・MD（マーチャンダイジング）事業に取り組んでおり、ライトノベル及びコミックスの刊行、WEBマンガサイト「ドリコミ+」の運営、アニメの企画・プロデュース、グッズの企画・販売などを行っております。また、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新たなサービス開発として、位置情報連動型ウォーキングポイントアプリの運用等を実施しております。

売上高につきましては、出版事業では前年同期と同水準の刊行を継続したことに加えて、MD事業におけるグッズ販売の伸長や、アニメ事業における収益の増加等により、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、出版事業・アニメ事業・MD事業やテクノロジーを活用した新たなサービス開発などの新規事業領域への投資の継続により費用が先行していることに加え、アニメ作品の出資金の償却費を計上したこと等により、セグメント損失額は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は438,721千円（前年同期比35.4%増）、セグメント損失は500,635千円（前年同期はセグメント損失459,950千円）となりました。

今後につきましては、ゲーム事業において、『Wizardry Variants Daphne』を中心に、配信地域の拡大やメディアミックス展開、新たなコンテンツの開発等を通じて「Wizardry」ブランドのユーザー層と経済規模の拡大を図ってまいります。その他の運用タイトルにつきましても、強固な事業基盤を作るべく、追加投資や体制強化等を通じて長期安定的な収益の確保に努めるほか、新規タイトルのパイプラインの検討を進めてまいります。また、ゲーム事業においてもIPを創出することを目的として、PC・コンソールゲームの開発及びパブリッシングの取り組みを強化してまいります。

コンテンツ事業においては、出版事業・アニメ事業において、多くの挑戦から継続的に作品を創出し、アニメ化等を通じて注力作品の売上規模を拡大することによる成長を目指してまいります。あわせて、MD事業の本格展開や、先進的なテクノロジーを活用した新たなサービスの開発を積極的に進めてまいります。

また、全社的な取り組みとして、AIを前提に業務プロセスを見直す組織への転換を進めております。定型的な業務でAIを活用することで、人は人にしかできない意思決定や創造的な領域に注力し、クリエイターと共に、生み出すコンテンツの量と質を高めることができると考えております。なお、著作権をはじめとするAIの活用に伴うリスクには慎重に対応しながら、こうした取り組みを中長期的な企業価値の向上につなげてまいります。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金が増加したことなどから、12,759,994千円となりました（前連結会計年度末比883,942千円増加）。

（負債）

当中間連結会計期間末の総負債は、主に長期借入金が増加したことにより7,450,249千円となりました（前連結会計年度末比617,500千円増加）。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は、主に親会社株主に帰属する中間純利益502,359千円を計上したことにより、5,309,745千円となりました（前連結会計年度末比266,441千円増加）。

この結果、自己資本比率は41.1%（前連結会計年度末は42.0%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績及び今後の見通しを勘案し、2026年5月12日に発表した2027年3月期の通期連結業績予想の数値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2026年10月29日）公表の「法人税等調整額（益）の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、連結業績予想及び配当予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,375,283	7,442,637
売掛金	2,176,890	1,890,004
商品	12,729	20,207
仕掛品	93,832	137,141
前払費用	341,753	259,630
その他	270,228	516,420
貸倒引当金	△44,000	△44,000
流動資産合計	9,226,718	10,222,042
固定資産		
有形固定資産		
建物	191,666	192,524
減価償却累計額	△112,582	△134,024
建物(純額)	79,084	58,499
工具、器具及び備品	146,290	175,756
減価償却累計額	△89,771	△99,843
工具、器具及び備品(純額)	56,519	75,913
リース資産	7,232	7,232
減価償却累計額	△6,407	△6,957
リース資産(純額)	825	275
有形固定資産合計	136,428	134,688
無形固定資産		
ソフトウェア	952,832	613,473
ソフトウェア仮勘定	151,335	264,218
その他	83,975	29,601
無形固定資産合計	1,188,143	907,293
投資その他の資産		
投資有価証券	20,006	20,006
繰延税金資産	836,939	972,665
その他	467,815	503,298
投資その他の資産合計	1,324,761	1,495,970
固定資産合計	2,649,333	2,537,952
資産合計	11,876,052	12,759,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	408,429	441,658
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,497,000	2,494,000
リース債務	961	320
未払金	1,473,273	1,404,122
未払法人税等	493,119	222,296
賞与引当金	133,286	131,474
その他	957,896	758,465
流動負債合計	6,063,966	5,552,337
固定負債		
長期借入金	522,000	1,665,000
資産除去債務	100,000	100,000
その他	146,781	132,911
固定負債合計	768,781	1,897,911
負債合計	6,832,748	7,450,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,906,870	1,909,284
資本剰余金	2,166,629	2,169,900
利益剰余金	1,104,196	1,606,556
自己株式	△214,692	△448,101
株主資本合計	4,963,004	5,237,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,311	8,912
その他の包括利益累計額合計	20,311	8,912
新株予約権	57,885	61,806
非支配株主持分	2,102	1,386
純資産合計	5,043,303	5,309,745
負債純資産合計	11,876,052	12,759,994

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	8,238,640	8,328,881
売上原価	6,033,054	5,404,861
売上総利益	2,205,585	2,924,019
販売費及び一般管理費	2,780,425	2,264,756
営業利益又は営業損失(△)	△574,839	659,263
営業外収益		
受取利息	4,362	8,671
請負受託料	-	4,650
出資金運用益	212	-
その他	666	538
営業外収益合計	5,241	13,860
営業外費用		
支払利息	39,974	34,003
支払手数料	2,058	30,537
その他	5,233	13,019
営業外費用合計	47,267	77,561
経常利益又は経常損失(△)	△616,865	595,562
特別利益		
固定資産売却益	-	12,867
新株予約権戻入益	-	12,585
特別利益合計	-	25,452
特別損失		
減損損失	1,563,462	-
特別損失合計	1,563,462	-
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△2,180,327	621,015
法人税、住民税及び事業税	57,472	248,370
法人税等調整額	123,668	△130,478
法人税等合計	181,141	117,892
中間純利益又は中間純損失(△)	△2,361,469	503,122
非支配株主に帰属する中間純利益	925	763
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△2,362,395	502,359

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△2,361,469	503,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△11,398
為替換算調整勘定	△704	—
その他の包括利益合計	△704	△11,398
中間包括利益	△2,362,173	491,724
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△2,363,099	490,960
非支配株主に係る中間包括利益	925	763

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△2,180,327	621,015
減価償却費	678,211	560,992
株式報酬費用	57,730	40,593
減損損失	1,563,462	—
受取利息及び受取配当金	△4,362	△8,671
支払利息	39,974	34,003
支払手数料	—	30,537
固定資産売却益	—	△12,867
新株予約権戻入益	—	△12,585
売上債権の増減額(△は増加)	939,379	286,885
棚卸資産の増減額(△は増加)	△36,028	△50,820
未収入金の増減額(△は増加)	△206,131	58,378
前払費用の増減額(△は増加)	214,538	80,599
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,407	33,229
未払金の増減額(△は減少)	△67,512	△59,071
未払消費税等の増減額(△は減少)	△67,287	△77,005
前受金の増減額(△は減少)	△3,191	△363
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,487	△1,811
その他	△25,323	△71,771
小計	889,210	1,451,268
利息及び配当金の受取額	4,575	8,991
利息の支払額	△39,845	△32,713
法人税等の支払額	△99,698	△508,649
法人税等の還付額	434	16,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	754,675	935,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金(3ヶ月超)の預入による支出	—	△2,500,000
有形固定資産の取得による支出	△6,252	△40,753
有形固定資産の売却による収入	—	14,368
無形固定資産の取得による支出	△319,538	△429,992
開発投資受入による収入	89,999	25,000
その他	△122,543	△27,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△358,335	△2,958,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	311,000	2,122,000
長期借入金の返済による支出	△1,059,300	△1,010,000
自己株式の取得による支出	—	△312,537
自己株式取得のための預け金の増減額(△は増加)	—	△189,462
配当金の支払額	△14	△5
その他	△3,719	△19,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△752,033	590,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△704	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△356,397	△1,432,646
現金及び現金同等物の期首残高	3,928,774	6,375,283
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,572,377	4,942,637

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。当該契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
当座貸越極度額	100,000千円	100,000千円
借入実行残高	100,000	100,000
差引額	—	—

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
給料及び手当	376,325千円	388,672千円
広告宣伝費	1,494,660	858,215
研究開発費	56,619	100,503
賞与引当金繰入額	52,113	60,383

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
現金及び預金勘定	3,572,376千円	7,442,637千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	△2,500,000
その他流動資産	0	0
現金及び現金同等物	3,572,377	4,942,637

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	7,930,675	307,964	8,238,640	-	8,238,640
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	6,657	16,064	22,722	△22,722	-
計	7,937,333	324,028	8,261,362	△22,722	8,238,640
セグメント利益又は損失(△)	△114,888	△459,950	△574,839	-	△574,839

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「ゲーム」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前中間連結会計期間において1,563,462千円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2026年4月1日 至2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	7,890,532	438,349	8,328,881	-	8,328,881
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	22	371	394	△394	-
計	7,890,554	438,721	8,329,276	△394	8,328,881
セグメント利益又は損失(△)	1,159,899	△500,635	659,263	-	659,263

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。